

### 第3回日比 NGO シンポジウム 「専門知と経験の共有～地域開発における日比 NGO の連携～」

#### 1. 日比 NGO 連携事業のこれまで

フィリピンと日本の関係は、一時期、フィリピンに日本軍が侵攻し、同国が戦場と化し、数多くの命が奪われるなど不幸な歴史を経たが、現在は、同じ民主主義国家として友好的関係を築いている。両国間では、活発な経済交流が進み、2006年の貿易額は1兆6700億円に達し、また日本政府はフィリピンの経済開発に資するため政府開発援助（ODA）を積極的に進め、これまでの累積援助金額は2兆5千億円に達し、同国への援助国の中では最大規模になっている。さらに近年においては、両国間の人的交流が盛んになり、日本からフィリピンへの観光客は年間40万人近くに達し、一方、2009年末現在、20万人強のフィリピンの人々が就労その他を目的に日本で生活している。

上記のような日比関係であるが、フィリピンでは、今なお、社会開発上の多くの問題が横たわり、この状況に対し、フィリピン国内の市民社会組織（CSO）のみならず、日本の NGO も約90団体がこれら貧困層の人々への支援活動に従事している。日本に存在する国際協力に携わる NGO の中で、フィリピンに関わる NGO の数は最大である。

2005年より、(特活)アジア・コミュニティ・センター21（ACC21）による仲介活動を通して、日比両国の一部の NGO 関係者間で両国 NGO 間の対話と協力関係構築への関心が徐々に高まった。翌年、2006年、この関心を目的に移すことを目的に、両国にそれぞれのネットワークとして、「日比 NGO ネットワーク（JPN：Japan-Philippines NGO Network）」、フィリピンでは「比日 NGO パートナーシップ（PJP：Philippines-Japan NGO Partnership）」が誕生した。両国のネットワークと ACC21 は、同年が日比両国間の「国交正常化50周年」の「日比友好年」であることを機に、「第1回日比 NGO シンポジウム」を開催した。

2006年に ACC21 が実施したフィリピンに関わる日本の NGO の概況調査では、約72%の団体は財政規模が5,000万円未満の小規模であり、資金調達の難しさやフィリピンに関わる NGO 間の連携の薄さなどが課題として挙げられた。日比 NGO ネットワーク（JPN）は、日比 NGO 間の情報交換と協働を推進し、両国市民社会の創造的な関係構築に寄与することを目的としており、上記のような課題を「協働」を通じて取り組むべく、学習会やマニラでの日比 NGO フェア（活動紹介と物品販売）を実施してきた。

#### 2. これまでの「日比 NGO シンポジウム」と「第3回日比 NGO シンポジウム」開催の目的

2006年11月24日～25日、フィリピンと日本の市民組織（NGO）グループ「フィリピン日本 NGO パートナーシップ（PJP）」、「日比 NGO ネットワーク（JPN）」が協力し、フィリピンのマニラ首都圏タギッグ市において、「ミレニアム開発目標に向けてのフィリピン貧困層のエンパワーメントー日比 NGO のパートナーシップ構築ー」のテーマの下で、両国 NGO の合同シンポジウムを開催した。このシンポジウムには、NGO、政府、大学関係者等約150名

(2010年8月10日)

が参加した。両国 NGO 関係者は、フィリピン貧困層のエンパワーメントと「ミレニアム開発目標」(MDGs)の達成に向け協働することを確認した。

「第2回日比 NGO シンポジウム」は、2008年7月17日～19日、「ミレニアム開発目標に向けてのフィリピン貧困層のエンパワーメント—日比 NGO のパートナーシップ構築—」というテーマで、東京にて開催した。日比 NGO 関係者(フィリピンからの招聘23名)はじめ、外務省、国際機関、JICA、企業、学術、マスコミ関係者など延べ200名以上の参加を得た。ここでは、6つの活動分野の分科会(「子どもの教育」、「子どもの保健(母子保健)」、「農業・農村開発」、「少数民族」、「平和構築」、「在日フィリピン人」)に分かれて議論を行い、「日比 NGO 協働基金」構想について話し合いを行うなど、実践的な情報交換を行い、具体的に連携方法について話し合った。「東京宣言」(別紙参照)を採択し、同シンポジウムの趣旨を引き継ぐべく、「第3回日比 NGO シンポジウム」をフィリピンで開催することを決定した。

### **(第3回日比 NGO シンポジウム開催の目的)**

「第3回日比 NGO シンポジウム」は、「第1回日比 NGO シンポジウム(2006年)」および「第2回日比 NGO シンポジウム(2008年)」を通じて培われた協力関係をさらに強固なものとし、両国および世界が直面している重要な課題により効果的に対処していくための両国の市民社会セクター(NGO、ロータリークラブ、大学など)、および経済界、行政との協働関係の促進を図り、フィリピンの貧困削減に寄与することを目的とする。そして、シンポジウムのテーマを「専門知と経験の共有～地域開発における日比 NGO の連携～」として、両国 NGO の経験・技術の共有を促進する。また、開催地をダバオ市とすることにより、数多い日系人が同市で生活することに鑑み、日系人の歴史を学び、これらの人との交流を図る機会を提供することを目指す。

(2010年8月10日)

—「第3回日比 NGO シンポジウム」概要—

**第3回日比 NGO シンポジウム**  
**「専門知経験の共有～地域開発における日比 NGO の連携～」**  
**実施要綱**

■ **主催**

フィリピン側：比日 NGO パートナシップ (PJP)

日本側：日比 NGO ネットワーク (JPN) (事務局：ACC21)

■ **資金助成**

(独法)国際交流基金 (比日 NGO パートナシップへの助成)

■ **日程**

2010年8月25日(水)～27日(金)

■ **場所**

フィリピン共和国 ダバオ・デル・スール州 ダバオ市

■ **会場**

Villa Margarita (ホテル)

住所：J. P. Laurel Ave. Bajada, Davao, Mindanao, Philippines

■ **参加者**

日比 NGO 関係者、政府関係者、企業関係者、学術関係者、市民、学生、他  
(約100名)

■ **達成目標**

「第3回日比 NGO シンポジウム」の目標は以下の5点である。

- 1) 日比両国の視点に立って、様々な開発課題と経験の相互理解を深める。
- 2) 開発課題への取り組みにおいて、両国間の協働 (パートナーシップ) の成功事例から学ぶ。
- 3) 日比の市民社会組織、大学、民間企業、政府、助成団体等との連携を深める。
- 4) 日比の NGO が実施する事業とその成果に関する情報の収集と普及を行う。
- 5) (第2回「日比 NGO シンポジウム」で採択された)「東京宣言」のフォロー活動を行う。

■ **参加費**

日本側参加者：航空運賃 (自己負担)

宿泊費 (JPN メンバーは不要。他の参加者は、自己負担)

■ **宿泊施設**

Villa Margarita またはダバオ市内の他のホテル

(JPN メンバー以外の方で、ダバオの宿泊手配の必要がございましたら、

JPN 事務局までご連絡ください。現在予定しているホテル “Villa Margarita” は、  
約2,500円/泊です。)

(2010年8月10日)

■ プログラム (案)

2010年8月25日(水) (1日目)

午前	受付
11:30am	昼食
1:00pm	<p>OPENING CEREMONIES</p> <p>Opening Prayer Philippine National Anthem Opening Remarks Mr. Donato Sixto Macasaet Convenor, PJP Opening Remarks Mr. Michio Ito Convenor, JPN Welcome Message Hon. Sarah Duterte Mayor, Davao City Opening of Photo Exhibit Key Note Address Hon. Alberto Romulo, Secretary, Dept. of Foreign Affairs Inspirational Message Mr. Senen Bacani 2009 TOFIL Awardee Objectives &amp; Overview Ms. Veronica Villavicencio Executive Director, PEF</p> <p><b>【開会式】</b> 開会挨拶 シスト・マカサエット (比日 NGO パートナーシップ代表/CODE-NGO 専務理事) 伊藤道雄 (日比 NGO ネットワーク世話人/ (特活) アジア・コミュニティ・センター21 代表理事)</p> <p>歓迎の辞 サラ・ドゥテルテ (ダバオ市市長) (依頼中)</p> <p>活動写真展の開会 基調講演 アルベルト・ロムロ (フィリピン共和国、外務長官) (依頼中)</p> <p>2009 フィリピン功労者賞受賞者からのメッセージ セネン・バカニ (2009 TOFIL 賞 (The Outstanding Filipino Award) 受賞者) (依頼中)</p> <p>シンポジウムの目的 ヴェロニカ・ヴィリヤヴィセンシオ (ピース・エクイティ財団専務理事)</p>
3:00 pm	<p>PLENARY : HISTORICAL &amp; CULTURAL DIMENSIONS OF PARTNERSHIP</p> <p><b>The Japanese in Davao</b> Dr. Macario Tiu, Ateneo de Davao University</p> <p><b>Japanese in the Cordilleras</b> Dr. Ma. Nela Florendo, UP Baguio</p> <p><b>Filipinos in Japan</b> DAWN &amp; Maligaya House</p> <p>Open Forum</p>

(2010年8月10日)

	<b>【全体会：両国のパートナーシップにおける歴史的、文化的側面】</b> 「ダバオと日本人」（仮題） マカリオ・ティウ（アテネオ大学ダバオ校） 「コルディリエラと日本人」（仮題） ネラ・フローレンド（フィリピン大学バギオ校） 「在日フィリピン人について」（仮題） DAWN、マリガヤ・ハウス
6:00 pm	歓迎夕食会

2010年8月26日（木）（2日目）

8:00 am	受付
8:15 am	1日目の振り返り
8:30 am	<b>Inspirational Message : The Importance of Philippines-Japan Government &amp; CSO Partnerships to the Japanese Government</b> Minister Motohiko Kato, Deputy Chief of Mission, Embassy of Japan  「日本政府における日比政府と市民社会組織（CSO）のパートナーシップの重要性」 加藤元彦在フィリピン大使館次席公使
9:00 am	<b>PLENARY : CASE STUDIES ON DEVELOPMENT FINANCING</b> <b>ODA Program &amp; the Participation of CSOs</b> IBON Foundation <b>Japanese NGOs in the Philippines and Resource Mobilization</b> Mr. Hajime Yokota, ACTION <b>Diaspora Philanthropy</b> IMDI Open Forum  <b>【全体会：開発資金に関する事例発表】</b> 「ODAプログラムと市民社会組織（CSO）の参加」 IBON Foundation, Inc. 「フィリピンで貧困削減に取り組む日本のNGOと資金調達」 横田 宗（（特活）ACTION） 「海外移住フィリピン人からの寄付活動」 Institute for Migration and Development Issues (IMDI) 意見交換
10:45 am	<b>LAUNCHING : PJP PARTNERSHIP FUND</b> <b>What is the Partnership Fund</b> Mr. Oman Jiao, Executive Director, Association of Foundations <b>Confirmation of Partnership Fund</b> Mr. Michio Ito, Convenor, JPN <b>Response from Partners</b> JPN Local Partner/Beneficiary PJP Local Partner/Beneficiary Partner Donor Philippine Government Rep. Embassy of Japan Rep. Open Forum

	<p><b>【「日比 NGO 協働基金」開始宣言】</b> 「日比 NGO 協働基金」構想の発表 ノーマン・ヤオ (Association of Foundations 専務理事) 日比 NGO ネットワーク (JPN) 代表者 パートナー団体からのコメント・提言 日比 NGO ネットワーク・メンバー団体の現地パートナー団体 日比 NGO パートナーシップ・メンバー団体のパートナー団体 助成団体関係者 フィリピン政府関係者 在比日本大使館関係者 意見交換</p>
12:00 pm	昼食
1:30 pm	<p><b>ACTIVITY SESSIONS : THEMATIC DISCUSSIONS/WORKSHOPS</b> Plenary : Peace &amp; Development c/o IBON Foundation *Planned thematic groups Simultaneous Sessions 1: Group 1 : Children (Human Trafficking, Children's Rights, Education, Health &amp; Child Labor). c/o Ibon Foundation Group 2 : OFWS in Japan c/o DAWN Group 3 : War-Displaced Japanese Descendants c/o PNLSC/PNKJ</p> <p>Simultaneous Sessions 3: Group 1 : Disaster Risk Reduction &amp; Management c/o PEF Group 2 : Sustainable Agriculture &amp; Trade Fair c/o PREDA &amp; PhilDHRRA Group 3 : Indigenous Peoples c/o KPACIO</p> <p>Announcement of Day 3 Activities</p> <p><b>【分野別分科会】</b> 全体会 「平和と開発」 ファシリテーター : IBON Foundation, Inc. *7つの分科会を2回のセッションに分けて実施予定 (各2時間ずつ) 予定分科会は以下の通り</p> <p>セッション1 分科会1 : 「子ども (子どもの教育、母子保健、児童労働、人身売買、子どもの権利) 」 ファシリテーター : Visayan Forum Foundation, Inc. 分科会2 : 「日本へのフィリピン出稼ぎ労働者」 ファシリテーター : DAWN 分科会3 : 「在フィリピン日系人」 ファシリテーター : (特活)フィリピン日系人リーガルサポートセンター (PNLSC)</p> <p>セッション2 分科会1 : 「災害危機対策と管理」 ファシリテーター : ピース・エクイティ財団</p>

(2010年8月10日)

	分科会 2 : 「先住民族 (少数民族)」 ファシリテーター : 金光教平和活動センター (KPACIO) 分科会 3 : 「持続可能な農業と農産物展示会」 ファシリテーター : PREDA、PhilDHRRA
6:00 PM	夕食

2010年8月27日 (金) (3日目)

8:00 am	集合
8:30 am	FIELD VISITS <b>FAIR TRADE &amp; SUSTAINABLE AGRICULTURE</b> c/o PREDA/PhilDHRRA <b>JAPANESE COMMUNITIES IN DAVAO</b> c/o PNLSC <b>ODA PROJECT W/ CSO PARTICIPATION*</b> (Depends on availability of such project) c/o CODE-NGO Open Forum  <b>【活動現場視察】</b> グループ 1 : 持続可能な農業と農産物展示会 ファシリテーター : プレダ基金 (PREDA) 、 PhilDHRRA グループ 2 : ダバオの日本人コミュニティ ファシリテーター : (特活)フィリピン日系人リーガルサポートセンター(PNLSC) グループ 3 : ODA 事業と市民社会組織 (CSO) の参加 (視察先検討中) ファシリテーター : CODE-NGO 意見交換
12:00 pm	昼食
1:00 pm	PLENARY : FIELD VISIT REPORTING <b>全体会 : 視察報告</b>
2:00 pm	CLOSING CEREMONIES <b>閉会式</b>
3:00 pm	PJP-JPN BUSINESS MEETING <b>日比 NGO ネットワーク (JPN) 、 日比 NGO パートナーシップ (PJP) による会合 (関係者のみ)</b>

### 【お問い合わせ・お申し込み】

必要事項を参加申込書にご記入の上、下記事務局までお申し込みください。

日比 NGO ネットワーク (JPN) 事務局 (担当 : 西島 恵)

(特活) アジア・コミュニティ・センター21

受付時間 : 平日午前 10 時 ~ 午後 6 時まで

E-mail : [info@acc21.org](mailto:info@acc21.org) 電話 : 03-3945-2615 FAX : 03-3945-2692

URL : (ACC21) <http://www.acc21.org/> (JPN) <http://jpnacc21.exblog.jp/>

住所 : 〒113-8642 東京都文京区本駒込 2-12-13 アジア文化会館 1F